

令和6年度 第3回 丹波市立竹山小学校 学校運営協議会記録

日時：令和7年2月27日（木）

場所：丹波市立竹山小学校 会議室

参加者全員から多くのご意見を頂きました。主な意見と方向性を報告します。

報告事項

- (1) 3学期参観日学年懇談会プレゼン（CS 担当）
- (2) 12月3日実施の地域イベントについての報告（CS 担当）

『スクールバスについて』

・どのバス停にも地域の方や保護者が最低2名はついてきている。慣れてきていい加減になっている時もあるが、特段大きなトラブルは見受けられなかった。

・大雪の際に、バスが早めに来て待っていただいた。ありがたかった。

『地域イベントについて』

・来年度もやってほしいとの子どもたちの声が嬉しかった。
・私自身も子どもたちと話す機会ができて楽しかった。
・次回は知り合いにも声をかけて、大勢で参加したい。
・イベントが楽しかったと聞いた。サッカーでは普縦のつながりができたことを喜んでいる子も多かった。
・門松やツリーなど準備が大変だったと思うので、負担が少なくなるものを計画して、今回で終わりではなく継続していくイベントにしていきたい。

【地域イベントは来年度も実施する。時期や回数は次年度計画する。より多くの地域の方の参加ができるように運営協議会から呼びかけていき、地域とのつながりを深め、愛着づくりに力を入れていけるよう、また持続可能な会になるように内容を考えていく】

協議事項

- (1) 令和6年度竹山小学校学校評価について（学校長）

『学校運営 保護者・地域との連携による児童の育成』

・子どものスマホ利用について、海外では年齢制限や禁止にしている国もあると聞く。日本でもそうした動きがあるかもしれない。

・何が危険なのかを知らせるのが親の役目と思う。そのためには親も学習する機会が必要。また普段の親子関係が大事だと思う。

・子どもたちの挨拶の声については、賛否の意見があった。また、小学校ではあまり挨拶をしていなかった子も中学生になればよくしている子もいるなど、長年にわたり見守る中で、子どもの成長を感じるという意見もあった。

・うちの子に聞くと恥ずかしくて言えないという。挨拶をしないのは誰かの責任ということではなく、竹山に暮らす誰もが子どもを育てる当事者として関わるのが大事。

【学校での情報モラル教育とともに、親子で家庭での生活を振り返りながら、メディアと付き合い方を考える機会を大切にする。親がSNSの危険を知ることが大事】

【LET'S あいさつ！みんなが当事者として自分のできることを！大人が姿でみせること】

『教育課程 学習指導 協働的な学びと個別最適な学びの充実・ICTの積極的な活用』

『人権教育 自尊感情と人権意識の高揚 主体的にかかわる ふるさと竹山』

・自由進度学習のポイントは、事前に学習のゴールを示していること。そのワクワク感が子どもたちの主体的な学びのエネルギーとなっている。見通しを持って自分で計画を立てながら学習を進める力を育成することが子どもたちの今後の生きる力となる。

・すべての学習を自由進度にすればいいという話ではない。自由進度に向かない単元もある。一斉指導か自由進度学習か対立するのではなくバランスを考えること。また何を子どもに委ねるのかを考えることが大事と考える。

・自尊感情を高めていくには、家庭との連携が重要と思う。

・勉強が苦手という子回答している子と自分にいいところがないと回答している子がリンクしている。できることが自信になり自尊感情の高まりにもつながると考えている。

【子どもたちが考えて進めていく学習スタイルを竹山の学びのカタチとして、今後も継続してほしい】

【子どもたちが多様性を認め合えること。自分のペースで学ぶ機会があることなどが子どもの成長には大事】

- (2) 来年度の竹山小学校学校運営協議会委員について（学校長）

・学校提案の学校地域協働活動推進員に承認を頂いた。